

部分的失業に関するよくある質問が更新されました

更新日付: 2021年8月16日

2021年1月18日、Andrew M. Cuomo前知事は彼の指図の下、NYS DOLは新パートタイムの仕事が失業給付金にどのように影響するか再定義するルールを実施することを発表しました。この変更により、パートの仕事を探す機会のあるニューヨーク州の居住者にとって、失業およびパンデミック給付金を受けながら、ニューヨークの部分的失業システムがさらに公平で平等な内容になります。

2021年8月16日に発効し、ニューヨーク州は部分的失業の資格のためのルールを変更しました。この更新は、2021年8月16日月曜日から2021年8月22日日曜日までの、給付金がもらえる週およびそれ以降の全ての給付金の対象となる週に適用されます。給付金を認められた時、ニューヨーク州の居住者は次に該当するパートタイムの仕事を経験する際には、新ガイドラインを参照にしてください。

質問: 部分的失業にどのような変更が加わったのですか？

回答: NYS DOLの新部分的失業システムでは「時間に基づく」アプローチが使用されます。新ルールでは、請求者は自営業での収入を除いて30時間以下または総額504ドル以下の場合、その週の失業給付金全額を停止されることなく、週に7日まで労働できます。この変更で、請求者のパートタイム労働に従事する各日の給付金は減額されず、その週の勤務時間の合計の増加によって減額されます。

比較すると、部分的UIに関して、NYS DOLの前のシステムでは、パートタイム労働に従事した場合、フルタイム労働の増加としてカウントしていました。このアプローチによると、パートタイム労働に従事する請求者は、勤務日の労働時間とは無関係に、働いた日の週ごとの給付金の25%を減額されるでしょう。例として、3時間シフトで45ドルだけ稼いだ請求者は、彼らの週の手当の4分の1を減額されていたかもしれません。

質問: 私の週の証明で何が変更されたのでしょうか？

回答: このシステム更新は、請求者が報告する各週に働いた日数を計算する方法を変更します。請求者は自分が週に何時間働いたかを報告するべき日数に換算する方法を判断する際には、次の表を参照してください。例として、請求者の働いた時間が週に10時間に満たない場合、証明の際には、働いた日数は0日と報告する必要があります。30時間働いた請求者は、3日働いたと報告をします。

それ以外の変更としては、請求者は1日の労働時間は最長で10時間まで報告する必要があります。

週に働いた時間	UIに報告する日数	UIで減額される割合 (%)
0 - 10	0 日	0
11 - 16	1 日	25%
17 - 21	2 日	50%
22 - 30	3 日	75%
31以上	4 日	100%

労働時間を計算する場合、最も近い整数に切り上げてください。

質問:週ごとの証明で変更がない部分は何ですか?

回答:請求者はオンラインまたは自動電話システムを介して自分のその週の給付金の請求を証明する必要があります。証明の際、システムは働いた日数を質問してきます。請求者は自分が週に何時間働いたかを報告するべき日数に換算する方法を判断する際には、次の表を参照にしてください。

さらに、請求者は給付金を請求する週に稼いだ総額を報告することが必要です。週に504ドル以上稼ぐ請求者は(自営業による収入を除きます)働いた時間とは無関係に、失業給付金およびパンデミック給付金を受ける資格を喪失します。

週に働いた時間	UIに報告する日数	UIで減額される割合(%)
0 - 10	0日	0
11 - 16	1日	25%
17 - 21	2日	50%
22 - 30	3日	75%
31以上	4日	100%

労働時間を計算する場合、最も近い整数に切り上げてください。

質問:1日に10時間以上働いた場合、どう計算するべきですか?

回答:その週の働いた時間を合計する際、請求者は暦日につき最長10時間で計算します。UIの報告するために何日働いたのかを決めるには、請求者は各暦日の働いた全ての時間を合計し(請求者が10時間以上働いた全ての日に最長で10時間とすること)、この表を参照する必要があります。

例えば、週に合計で11時間働いた請求者は、1日だけ雇用されたと報告すべきです。週に合計で17時間働いた請求者は、1日以上働いた場合は2日雇用されたと報告する必要があります。1暦日に17時間働いた日があった場合、最長10時間ルールがありますので、請求者は1日雇用されたと報告する必要があります。

週に働いた時間	UIに報告する日数	UIで減額される割合(%)
0 - 10	0日	0
11 - 16	1日	25%
17 - 21	2日	50%
22 - 30	3日	75%
31以上	4日	100%

労働時間を計算する場合、最も近い整数に切り上げてください。

注:この方式は、週に最高で504ドルの支払いルールを変更していませんので、請求者はその週の合計収入を報告する必要があります。週の合計収入が504ドル以上あった請求者は(税金その他差し引かれるものを支払った後での稼いだ合計金額)自営業による収入を除き、労働時間とは無関係に、失業給付金およびパンデミック給付金の対象から外れます。

質問:この部分的失業の変更が実施されるのはいつですか?

回答:2021年1月24日日曜日以降に、2021年1月18日月曜日から2021年1月24日日曜日およびそれ以降の全ての給付の対象となる週に、ニューヨーク州の居住者は新しい方法を使用して報告ようになります。

注:2021年8月22日の日曜日以降に、ニューヨーク州の居住者は、2021年8月16日月曜日から2021年8月22日日曜日およびそれ以降の全ての給付の対象となる週に、更新された時間マトリックスを使用して報告します

質問:部分的失業給付金の収入の減額は以前と変わらずありますか?

回答:はい、請求者の合計収入が504ドルを超えた場合(税金や控除が差し引かれた後の収入の合計金額で、自営業による収入は含まれません。そうすると働いた時間がどんなに少なくても、その週の失業給付金やパンデミック給付金の対象から外れます。

質問:この変更は週ごとのパンデミック失業補助(PUA)給付金の証明にも適用されるのですか?

回答:はい。PUA給付金の対象となる請求者は、新しい計算方法を使用して、週ごとの働いた日を報告します。通常のUI給付金(または延長された給付金)と異なり、PUA請求者は、連邦の要求事項に従い、504ドルを超える自営業による収入を報告する必要があります。

質問:もし私が週に4日、4時間働いた場合、それでも働いた日を0時間と報告するのですか?

回答:はい、NYS DOLの新・部分的失業システムにより、週に4時間の労働は、働いた合計日数とは無関係に、請求者が働いた3時間の合計収入504ドルを超えない限りは(自営業による収入を除きます)証明の目的のために、労働日として1日に満たないものとされます。

質問:パートタイムで働いていない場合、この変更によって私の給付金に影響がありますか?

回答:部分的失業給付金をどのように計算するかというNYS DOLの変更は、週の労働時間が0時間の請求者には影響はありません。

質問:部分的失業のこの変更によって、自分の失業給付金を受給できる全体的な時間にどういった影響がありますか?

回答:NYS DOLの部分的失業給付金の計算方法の変更は、ニューヨーク州の居住者が対象となる失業の週数に影響を与えません。

質問:シェアされた仕事に従事しています。自分の給付金にこの給付金は影響があるでしょうか?

回答:シェアされた仕事プログラムに登録された請求者のための部分的失業給付金は、計算方法が異なります。シェアされた仕事の給付金の証明に関する詳しい情報はこちらをクリックしてください。

質問:証明しようとして、働いた時間を報告する際に、間違った数字を報告したら、どうしたらいいですか?

回答:2021年1月18日以降に、請求者が誤って新しい方法を使用しないで、週に働いた日数を報告した場合、または2021年8月16日以降に週に以前の報告ガイドラインを使用した場合、NYS DOLに連絡をいただく必要があります。そうすれば給付金対象となっている全額が支払われます。

質問:2021年1月18日から2021年8月16日の間、自分が部分的失業だった数週間にわたって未払の給付金を受け取るために証明したい場合、何をしたらいいですか?

2021年1月18日から2021年8月16日の間、パートタイム仕事に従事していたという証明をするためには、次にある以前の部分的失業ガイドラインを参考にしてください。

- 0~4時間の労働(0日働いたのと同じ):週の給付金レートの100%
- 5~10時間の労働(1日働いたのと同じ):週の給付金レートの75%
- 11~20時間の労働(2日働いたのと同じ):週の給付金レートの50%
- 21~30時間の労働(3日働いたのと同じ):週の給付金レートの25%
- 31時間以上の労働(4日働いたのと同じ):週の給付金レートの0%